

各 位

会 社 名 株式会社アズジェント
 代 表 者 名 代表取締役社長 杉本 隆洋
 (JASDAQ・コード 4288)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 常務取締役 鈴木 真治
 電 話 03 - 5643 - 2581

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の
 業績予想の修正に関するお知らせ (非連結)

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想について、平成 20 年 7 月 30 日付当社「平成 21 年 3 月期第 1 四半期決算短信 (非連結)」にて発表した業績予想を下記のとおり修正致します。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益
前回予想 (A)	1,700	75	75	110
今回修正 (B)	1,757	111	116	140
増減額 (B - A)	57	36	41	30
増減率	3.4 %	48.0 %	54.7 %	27.3 %
(ご参考) 前年同期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期累計期間)	1,650	29	34	△32

2. 修正理由

売上高については、セキュリティ商品の販売が堅調に推移したことで、1,757 百万円 (前回予想 1,700 百万円) となる見込みです。

営業利益及び経常利益については、仕入先からの商流を変更したことで、当社主力商品でありますフェアウォール関連商品の利益率が改善したこと、利益率の高いコンサルティング事業で、自社開発ソフトウェア「M@gicPolicyCoSMO」に大型の受注があったこと等により、売上総利益が好調に伸びたことで、営業利益は 111 百万円 (同 75 百万円)、経常利益は 116 百万円 (同 75 百万円) となる見通しです。

また、四半期純利益は、これらのことに加え、法人税等調整額 30 百万円を計上したことで、140 百万円 (同 110 百万円) となる見込みです。

3. 平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

サブプライムローン問題に加え、リーマン・ブラザーズ社の破綻に端を発した世界的な金融不安により、下半期における日本経済の見通しは不透明となっておりますので、現時点では、通期業績予想の修正は行いません。今後の業績の推移及び経済動向等を勘案し、適時に開示する所存です。

※ 上述の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以上